

W-5 当院における第2種装置のメンテナンス費用について

宗万孝次¹⁾ 郷 一知²⁾ 南谷克明¹⁾

- 1) 旭川医科大学病院 診療技術部 臨床工学技術部門
- 2) 旭川医科大学 救急医学講座

第2種装置は、第1種装置と比較し学会の安全基準に準じてメンテナンスを実施すると費用が膨大にかかる。しかし、安全性確保のためにはメンテナンスは必要なものであり、削減出来ない場合が多い。当院でも通常のメーカーからの見積もりでは、数百から1千万円／年を超えることが通常である。しかし、第2種装置は空調設備等も含まれるため、この部分を製造メーカーではなく地元の業者によるメンテナンスに変更することにより、メンテナンス費用を削減出来るか検討したので報告する。